

取材のご案内
返信期限：5月18日(土)



2019年5月14日
 六本木アートナイト実行委員会

「六本木アートナイト2019」取材のご案内

「夜の旅、昼の夢」をテーマに、六本木の街を舞台にしたアートの饗宴

① 5月20日(月) 13:30～ RedBall Project 初日お披露目会

巨大な赤いボールを探す1週間がスタート!

7日間毎日、六本木のどこかに、直径4.5メートルの巨大な赤いボールが出現

② 5月23日(木) 17:00～ メインプログラムのプレビュー

メインプログラム・アーティストのチェ・ジョンファ(崔正化)が、カラフルなバルーン彫刻とともに登場

③ 5月25日(土) 17:30～ コアタイム・キックオフセレモニー

六本木アートナイト実行委員会は、2009年より始まり今回で10回目を迎える六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴「六本木アートナイト 2019」を2019年5月25日(土)～5月26日(日)の2日間開催いたします。

テーマは「夜の旅、昼の夢」。多彩なアート作品で六本木の街を埋め尽くし、多くの人たちと夢のような時間を共にする「六本木アートナイト2019」にご期待ください。

メインイベントにさきがけて展示、設置するアートプログラム「プレプログラム」のひとつ、日本初上陸となる RedBall Projectのお披露目会を5月20日(月)、メインプログラムの一般公開前にいち早くご覧いただくプレスプレビューを5月23日(木)、また、イベント当日のコアタイム・キックオフセレモニーを5月25日(土)17:30から開催いたします。

つきましては、ご多忙とは存じますが、何卒ご取材賜りたくご案内申し上げます。なお、お手数ではございますが、出欠は、最終ページの返信用紙に必要事項をご記入の上、5月18日(土)までにご申請ください。

5月20日(月) 13:30～ | RedBall Project 初日お披露目会

日時	5月20日(月) 13:30～14:00過ぎ (プレス受付 13:15～)	
場所	ピラミデ1F (東京都港区六本木6-6-9)	
内容	RedBall Project (レッドボール・プロジェクト) アーティストご紹介・プロジェクトの説明など	カート・パーシキー (Kurt Perschke)
	プレプログラムをまわるプレスツアー(希望者のみ) 14時過ぎ～	東京ミッドタウンのプログラムより ・ストリートミュージアム ・石山 和広 《絵画からはなれて [磊]》 ・川村 真司 《六本のアートの木#1「木の木」》

周遊型パブリック・アート。街に出現する巨大な赤いボールを探す1週間!

RedBall Project (レッドボール・プロジェクト)

これまで32都市で実現され、六本木アートナイトで日本初上陸となる《レッドボール・プロジェクト》は、アメリカ人アーティスト、カート・パーシキーによる周遊型パブリックアートです。ビニールで出来たこの巨大な赤玉は、ある場所から別の場所へと毎日移動を繰り返しながら、六本木の街なかを一週間にわたって巡回します。六本木アートナイトのメインイベント5日前の5月20日より、毎日六本木エリアの異なる場所に、直径4.5mの巨大な赤いボールが出現し、街行く人を楽しませます。六本木アートナイト2019プレプログラムとして展開します。

- ・日時：5/20(月)～5/26(日)
- ・場所：六本木ヒルズ、国立新美術館、21_21 DESIGN SIGHT その他
1日1か所全部で7か所(予定)

※荒天の場合は中止の可能性あり ※展示時間と場所に関する詳細は公式サイトでお知らせします。



撮影：Kurt Perschke シカゴでの展示風景



東京ミッドタウン プレプログラムより

● 青沼 優介、高瑞、田中 優菜、泉 里歩、YU SORA、下村 奈那
《ストリートミュージアム》

明日を担うデザイナーやアーティストの発掘・応援・コラボレーションを目指すコンペティション「TOKYO MIDTOWN AWARD」。2018年度のアートコンペ受賞作家6名が集結し、インスタレーション・彫刻などの最新作を発表します。今注目の若手作家の才能と個性あふれる作品をぜひお楽しみください。
・場所：東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー



イメージ

● 石山 和広 《絵画からはなれて [磊] (らい)》

東京ミッドタウンの20番目となるパブリックアート「絵画からはなれて [磊]」が登場。照明にもこだわった新しいパブリックアートをぜひご鑑賞ください。
・場所：東京ミッドタウン ミッドタウン・タワー B1F



©六本木未来会議

● 川村 真司 《六本のアートの木 #1 「木の木」》

ウェブマガジン六本木未来会議 (6mirai.tokyo-midtown.com) による六本木に6本のアートの木を植える「六本のアートの木」プロジェクト。1本目の木はクリエイター川村真司さん考案の「木の木」です。木という文字を体で表現して一緒に写真を撮ってみよう。
・場所：東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン

六本木未来会議アイデア実現プロジェクト#17

5月23日（木） *17:00~ | メインプログラムのプレスプレビュー、プレプログラムのプレスツアー

日時	5月23日(木) 17:00~18:00過ぎ (プレス受付 16:40~)		
場所	六本木ヒルズアリーナ		
内容	15:30~ 16:45	<p>プレプログラムをまわるプレスツアー① ※15:20に六本木ヒルズアリーナにご集合ください ※希望者のみ</p>	<ul style="list-style-type: none"> RedBall Project (5月20日とは展示場所が異なります) 六本木ヒルズのプログラムより セドリック・ル・ポルニユ《欲望と脅威》 ジョシュア・オコン《下(アンダー)》※映像展示 トロマラム《ザー・ザー・ズー》※映像展示 トロマラム《戦いの狼》※映像展示 さわひらき《エアライナー》ほか ※映像展示 西原 尚《おひまち》 アンドリュー・ピンクリー《ストーン・クラウド》 大村雪乃+松田暁+堀和紀《唄う蜘蛛の巣》 ROPPONGI ART NIGHT CAFE FUROSHIKI TOKYO展 東京ミッドタウンのプログラムより ストリートミュージアム 石山 和広《絵画からはなれて [磊]》 川村 真司《六本のアートの木 #1「木の木」》
	17:00~ 18:00	六本木アートナイト実行委員長 囲み取材	実行委員長・森美術館館長 南條史生
		メインプログラム・アーティストご紹介・囲み取材	チェ・ジョンファ(崔正化)
18:00~ 19:00	<p>プレプログラムをまわるプレスツアー② ※メインプログラム・アーティストご紹介・囲み 取材が終わり次第スタート予定 ※希望者のみ</p>	プレプログラムをまわるプレスツアー①と同内容です	

アジアの現代アート界を代表するアーティスト チェ・ジョンファ(崔正化)

メインプログラム・アーティストは10回目にして初の外国人アーティスト チェ・ジョンファ。華やかでハッピー、夢のような一夜をお届けします。ソウルオリンピック・スタジアムを使用した国家的プロジェクトを成功させるなど、芸術や文化は限られた人々のもものではなく見る者だれにでも開かれている、という一貫して訴え続けているチェ・ジョンファによるカラフルな世界にご期待ください。
「六本木アートナイト2019」のテーマ「夜の旅、昼の夢」に沿って、六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館をつなぎます。

六本木ヒルズアリーナは、果物や野菜がぎゅっと詰まったパルーン彫刻《フルーツ・ツリー》で鮮やかに飾られます。枝から落ちたような果物や野菜はアリーナに配置され、空間を魔法の庭へと変えて見せます。合成ビニール製の彫刻は、自然界と人工物の双方にある美しさを表現しています。

・場所：六本木ヒルズアリーナ



完成イメージ

※六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局スタッフが施設までご案内いたします。

六本木ヒルズ



● セドリック・ル・ボルニュ 《欲望と脅威》

フランス在住のアーティスト、セドリック・ル・ボルニュは編み込まれたワイヤーを用いて、人間、鳥、海洋生物の立体作品を制作しています。屋根の上や空中高くに現れる作品は、強い光に照らされることで、ありふれた公共空間を詩的な情景に作り変えます。アートナイトに出現する3羽の鳥は、その儚い存在感を通して、夢のような都市景観を生み出すでしょう。

・場所：六本木ヒルズ 66プラザ、六本木ヒルズ 毛利庭園



● ジョシュア・オコン 《下 (アンダー)》

メキシコシティ在住のアーティスト、ジョシュア・オコンによる本作では緑豊かな自然や、そこで生きる動植物の様子を、高解像度なドキュメンタリーとして4Kモニター3台で映し出しています。タイトルである《下 (アンダー)》が隠された存在を暗に示すように、本作品の舞台となっているのは現在進行中の東京湾埋立地です。広大な森の下には1977年から東京都が排出した産業・家庭廃棄物が埋め立てられています。本作が映したすのは近代化の負の遺産を覆い隠す美しい自然の姿です。

・場所：六本木ヒルズ ウェストウォーク2F



● トロラマラ 《ザー・ザー・ズー》

インドネシアの3人組アーティスト・ユニット、トロラマラが、同国のインディーズバンドRNMのために、膨大な数のボタンとビーズをコマ撮りして制作したアニメーション・ミュージックビデオです。日用品を使った色鮮やかで軽快な映像は、私たちに小さな驚きをもたらします。

・場所：六本木ヒルズ ウェストウォーク2F



トロラマラ《戦いの狼》2006年
所蔵：森美術館、東京

● トロラマラ 《戦いの狼》

インドネシアの3人組アーティスト・ユニット、トロラマラが同国の人気ロックバンド、セリンガイのために、400枚以上の木版画をコマ撮りして制作したアニメーション・ミュージックビデオです。木版画という古典的な手法と現代インドネシアのサウンドの融合が斬新です。

・場所：六本木ヒルズ ウェストウォーク2F



● さわひらき 《エアライナー》 《ウォール》 《マイニング》

ページをめくると飛行機が飛ぶ姿が映し出され、ノートの端に絵を書いて遊ぶバラバラ漫画を想起させる《エアライナー》、さわが住むロンドンのアパートで、壁の向こう側の部屋でヤカンやカップといった小物が動き出したらどうなるか、という空想に着想を得た《ウォール》、「記憶の糸」がテーマの1つであり、テレビ放映もされた《マイニング》。どこか夢のようでもあり浮遊感に満ちたさわ独自の世界観をお楽しみください。

・場所：六本木ヒルズ ウェストウォーク2F



● 西原 尚 《おひまち》

66プラザに突如樹立された竹の楽器《おひまち》は、電動式の鞆(ふいご)によって和音を鳴らします。本作はさまざまな民族楽器をモチーフに作品を制作してきたアーティスト、西原尚によるものです。タイトルは田植えや稲刈りが終わった後に、日の出を待ちながら宴を行う日本各地の祭り「御日待(おひまち)」に由来しています。

・場所：六本木ヒルズ 66プラザほか(予定)



● アンドリュー・ピンクリー 《ストーン・クラウド》

ハワイ在住のアンドリュー・ピンクリーは、中国各地を巡ったのち、数年間タイで僧侶として修行をした経験をもとに、太平洋諸島の自然と仏教思想を融合した作品を制作しています。《ストーン・クラウド》は、岩肌の写真が印刷され、雲のように浮かぶ彫刻作品で、固体性と流動性、軽さと重さなど、相反する様々な性質が共存しています。日常の世界観から逸脱する、その驚くべき存在は、超越的な感覚を呼び起こしてくれるかもしれません。

・場所：六本木ヒルズ メトロハット(予定)



● 大村 雪乃+松田 暁+堀 和紀 《唄う蜘蛛の巣》

《唄う蜘蛛の巣》は毛糸で作られた、手編みのクモの巣のオブジェです。観客が触れるとクラシック音楽を奏できるようにプログラムされている、インターラクティブなサウンド・アート。触れる箇所によって、聞こえる楽器の音が変わるため、美しい合奏を聴くためには、より多くの鑑賞人が作品に接しなくてはなりません。オーケストラの合奏を奏でようと奮闘する姿は、クモの巣に捕まり、必死にもがく人のようにも見えます。

・場所：六本木ヒルズ ウェストウォーク2F

展示風景：ホノルルビエンナーレ2017

● ROPPONGI ART NIGHT CAFÉ Supported by Seibu & Sogo

2009年にスタートし、今回で10回目をむかえる六本木アートナイト。今年のアートナイトカフェは、各回を代表するプログラムや名シーンを振り返る「六本木アートナイトストーリー展」、そして昨年好評だったアール・ブリュット展の2019年バージョン「表現する喜び」が開催されます。さらに、2017年に好評を博したナウイン・ラワンチャイクンによる《OKのまつり》を再現する「OKのまつり2019」など、バラエティに富んだイベントが多数展開されます。街歩きの前のお見どころ探し、街歩きにつかれたときの休憩や食事など存分にご活用ください。



《「表現する喜び」アール・ブリュットの先駆者達 Paleo ~Neo》

誰のためでもなく、純粋に自分が生きるために制作する作家達。日本でまだアール・ブリュット、アウトサイダーアートということはが使われ始める何十年も前に、東京でも「八幡学園」などの児童保護施設や、「東京足立病院」「平川病院」といった一部の精神病院では創作活動が行われていました。周囲の理解と愛情によって、作家達の作品は変わっていきます。今は亡き作家達と、今を生きる作家達の「表現する喜び」に心を寄せ、時空を超えた語りをしていただけましたら幸いです。



《六本木アートナイトストーリー展》

2009年3月28日(土)、ヤノベケンジの巨大人形《ジャイアント・トラヤン》が大観衆の前で火を噴き度肝を抜くことから六本木アートナイトの歴史は始まった。以来、草間彌生、日比野克彦、名和晃平、蛸川美花など錚々たるアーティストで彩られたストーリー、そして今年のお見どころ集をお見逃しなく。

FUROSHIKI TOKYO展

2018年秋、東京都はパリ市庁舎広場に大きな風呂敷包みを贈り、風呂敷の展示やインスタレーション、ワークショップを通して風呂敷の魅力を世界に発信しました。2019年六本木アートナイトでは、唐草模様の風呂敷パビリオンにて、パリで展示された各アーティストによるオリジナル風呂敷を日本初公開し、また風呂敷のインスタレーションを通じ風呂敷の魅力を発信する「FUROSHIKI PARIS」報告展を行います。

※アーティスト：北野武、草間彌生、コンスタンス・ギセ、ジャンポール・ゴルチエ、ニコラ・ピュフ、蛸川美花、細川護熙(ほか(五十音順/敬称略))

・場所：六本木ヒルズ 毛利庭園 ヒルサイド側(六本木ヒルズアリーナ横)



撮影：Takuji Shimamura



撮影：Takuji Shimamura

東京ミッドタウン ※各プログラムの詳細はP2をご参照ください

- 青沼 優介、高瑞、田中 優菜、泉 里歩、YU SORA、下村 奈那 《ストリートミュージアム》
- 石山 和広 《絵画からはなれて [囁] (らい)》
- 川村 真司 《六本のアートの木#1「木の木」》

六本木未来会議アイデア実現プロジェクト#17

RedBall Project (レッドボール・プロジェクト)

周遊型パブリック・アート。街に出現する巨大な赤いボールを探そう1週間!

※プログラムの詳細はP1をご参照ください



撮影：Kurt Perschke シカゴでの展示風景

5月25日(土) 17:30~ | コアタイム・キックオフセレモニーの開催概要

日時	5月25日(土) 17:30~18:00 (プレス受付 17:00~)	
場所	六本木ヒルズアリーナ	
内容	六本木アートナイト実行委員長 ご挨拶	南條 史生
	東京都知事 ご挨拶	小池 百合子
	港区長 ご挨拶	武井 雅昭
	文化庁審議官 ご挨拶	内藤 敏也
	アーティスト 紹介	メインプログラム・アーティストのチェ・ジョンファ(崔正化) ほか、六本木アートナイト2019の参加アーティスト数十組が登場予定
転換		
18:30~	パフォーマンス	オレカTX 《巨人のオモチャの音楽会》

※5月14日時点の情報です。登壇者及び内容は変更となる可能性もございます。予めご了承ください。



● オレカTX 《巨人のオモチャの音楽会》

スペイン・バスク地方の伝統打楽器"チャラパルタ"を演奏するグループ「オレカTX」による、「巨人のオモチャ」をコンセプトにしたスペクタクルなステージです。2体の巨人が、オレカTX扮する"操り人形"を使ってチャラパルタを叩き、"起き上がり小法師"が揺れ動きながら角笛を奏で、"スノードーム"の中からは弦楽器の調べが響き渡ります。さらに、演奏に合わせてパフォーマーも登場し、スケール感溢れるファンタジーの世界を繰り広げます。

・日時：5/25(土) 18:30~19:00

・場所：六本木ヒルズアリーナ

・参加料：無料

※ 5/26(日) 17:30~18:00にも開催いたします

六本木アートナイト2019 開催概要

- 正式名称：六本木アートナイト2019
- 開催趣旨：「六本木アートナイト」は、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルの提案と、大都市東京における街づくりの先駆的なモデル創出を目的に開催する、一夜限りのアートの饗宴です。様々な商業施設や文化施設が集積する六本木を舞台に、現代アート、デザイン、音楽、映像、パフォーマンス等の多様な作品を街なかに点在させ、非日常的な一夜限りの体験をつくり出す本イベントは、東京を代表するアートの祭典として2009年3月にスタートし、年々発展を続けております。
- 日時：〈メインイベント〉2019(令和元)年5月25日(土)10:00~5月26日(日)18:00
※「六本木アートナイト2019」の開催に先駆けて展示、設置するアートプログラム「プレプログラム」、通年で事業評価検証事業等も実施予定
- 開催場所：六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース
- 入場料：無料(但し、一部のプログラム及び美術館企画は有料)
- お問い合わせ：03-5777-8600 (ハローダイヤル) ※年中無休 (8:00~22:00)
- 主催：東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、港区、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合(五十音順)】
- 助成：令和元年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業

公式サイト：<http://www.roppongiartnight.com/>
 Facebook：<https://www.facebook.com/RoppongiArtNight/>
 Twitter：https://twitter.com/r_artnight
 Instagram：https://www.instagram.com/roppongi_art_night_official/
 ※ハッシュタグ：#六本木アートナイト2019、#RoppongiArtNight2019

※全てのプログラムは天候等諸事情により変更または中止となる場合がございますので、予めご了承ください。
 ※本リリース内容は2019年5月14日時点のものであり、今後変更になる場合があります。



六本木アートナイト2019 メインビジュアル



①RedBall Project 初日お披露目

5月20日(月) 13:30~14:00過ぎ

(プレス受付 13:15~@ピラミデ1F)
港区六本木6-6-9

ご出席

●プレプログラムをまわるツアー：ご参加する/しない

☆5月21日(火)、22日(水)、24日(金)のRedBall Project展示場所の取材
ご希望の方は、希望日にチェックしてください。

21日(火) 希望する

22日(水) 希望する

24日(金) 希望する

②メインプログラム プレスプレビュー

5月23日(木) 17:00~18:00過ぎ

(プレス受付 16:40~
@六本木ヒルズアリーナ内)

ご出席

●プレプログラムをまわるツアー：ご参加する/しない
参加希望の回をお選びください

1部 15:30~16:45過ぎ / 2部 18:00~19:00過ぎ

※参加希望の回の10分前に六本木ヒルズアリーナにお越しください。

※5月23日(木)、25日(土)のプレス受付
※③の撮影位置は先着順です。



《重要》お願い事項

※ご取材を希望される場合は、必ずプレス受付
(@六本木ヒルズアリーナ)までお越しいただくか、下記
のお問い合わせ窓口までご連絡ください。PRESS証をお渡し
いたします。プレス受付にて申請後は「六本木アートナイト
2019」実施時間内、いつでもご取材が可能です。
※受付時間外のご取材を希望される方は、別途お問い合わせ
ください。
※参加アーティストに個別取材を希望される場合は、事前に
簡単な企画書と質問事項をご用意ください。

③コアタイム・キックオフセレモニー

5月25日(土) 17:30~18:00

(プレス受付 17:00~
@六本木ヒルズアリーナ内)

ご出席

④イベント会期中

5月25日(土) 10:00~5月26日(日) 18:00

(プレス受付 5/25(土) 10:00~21:00、
5/26(日) 12:00~18:00
@六本木ヒルズアリーナ内)

ご取材
希望

※個人情報のご記入にあたって

ご記入頂きました個人情報は、「六本木アートナイト2019」の出席者管理・ご連絡のみに使用させていただきます。

本ご返信状に個人情報を記入頂く場合には、ご同意の上、同意欄にチェックの上でご返信をお願い致します。 個人情報の送信に同意する

貴社名

貴媒体名

URL

御芳名

出席予定人数

合計

名

E-MAIL

緊急時
ご連絡先

機材

スチールカメラ

ムービー(ハンディ)

ムービー (ENG)

ご質問・ご要望欄：

報道関係のお問い合わせ

六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局 (PR01.内) 担当：三上・小谷

TEL : 03-5774-1420 FAX : 03-5774-1409

Mail : ran2019@one-o.com

《スナックエリー～六本木アートナイト2019 スペシャル～》



《スナックエリー～六本木アートナイト2019 スペシャル～》
作家、脚本家、映画監督など多彩なジャンルで活躍する大宮エリーさんが“ママ”になり、ゲストと共にお酒を飲みながら語らう「スナック エリー」の六本木アートナイト2019スペシャルを開催！六本木アートナイトや六本木の街の楽しみ方など、ゲストはもちろん、来場者も巻き込んでの展開をお楽しみに。

- ・日 時：5月26日(日) 0:00～2:30の間に開催
 - ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
 - ・出演者：大宮エリー、AMIAYA、増田セバスチャン 予定
 - ・参加料：無料
- ※開催時間の詳細は六本木アートナイト公式サイトにて発表します。

< 大宮エリー プロフィール >

作家、演出家、画家。

主な著書は、『生きるコト』(文春文庫)、『なんとか生きてますッ』(新潮文庫)、近著では『大宮エリーのなんでコレ買ったあ?!』(日本経済新聞出版社)、絵と詩で綴る絵本『虹のくじら』(美術出版社)が好評発売中。

最近では画家としても活動。2019年はパリ、香港など海外での個展開催と精力的に活動中。国内では4月KYOTO GRAPHIEのサテライトイベント「KG +2019」に参加。5/30～6/15小山登美夫ギャラリー(六本木)にて個展「Peace within you」を開催。



ゲスト



AMIAYA



増田セバスチャン

報道関係のお問い合わせ

六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局 (PR01.内) 担当：三上・小谷
TEL：03-5774-1420 FAX：03-5774-1409
Mail：ran2019@one-o.com

